

今月の
症例

ホームページ掲載版では、症例提示を非公開としています。



Osaka Medical College
Cardiology

- 大阪医科大学附属病院 循環器内科ではお困りの症例の電話による相談窓口を開設させていただいております。

当院のスタッフ(循環器専門医)が、緊急症例の受け入れに限らず、外来受診の予約など幅広く対応させていただきますのでご利用ください。

24時間対応させていただきます

TOPICS

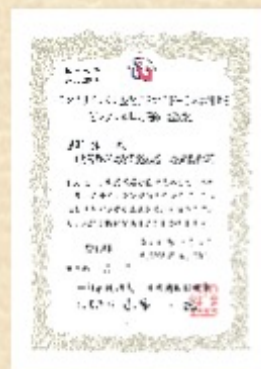
トランスサイレチン型心アミロイドーシスに対する ピンダケル適正投与のための 施設要件、医師要件を獲得しました

アミロイドーシスとは、アミロイドと呼ばれる線維状の異常蛋白質が全身の様々な組織、臓器の細胞外間質に沈着することで機能障害を引き起こす疾患群の総称です。

トランスサイレチンが沈着する希少疾患であるトランスサイレチン型家族性アミロイドーシスポリニューロパチーに対して使用されてきたピンダケル®(一般名:タファミジスメグルミン)が、野生型および変異型トランスサイレチンによる心アミロイドーシスへ適応拡大されました(2019年3月26日)。

それを受けて、厚生労働省保険局からは、本製剤の使用に際して、「最新のガイドラインを参照し、トランスサイレチン型アミロイドーシスの診断が確定していることを確認すること」、「トランスサイレチンアミロイドーシスの診断及び治療に精通した医師のもとで、本剤の投与が適切と判断される症例に使用すること」との勧告がなされ、本剤の適正使用に関する患者要件が発出されました。

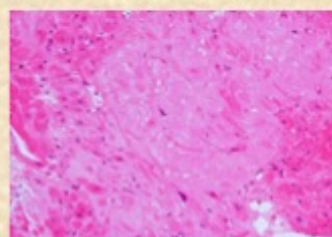
これに呼応し、日本循環器学会は心アミロイドーシス調査研究ワーキンググループを設定し、心アミロイドーシスに関するガイドラインの策定を開始するとともに、トランスサイレチン型心アミロイドーシス症例に



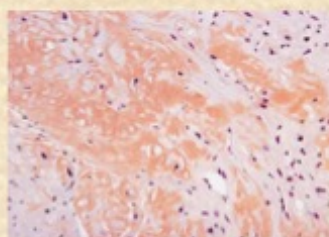
対して、ピンダケルが適正に使用されるために、施設要件、医師要件を定め、これらのすべての要件が満たされることがピンダケル投与導入の条件となりました。

当科は申請を行い、7月3日にピンダケル導入施設(大阪医科大学附属病院 循環器内科)、導入医師(藤田 修一)の認定をいただきました。

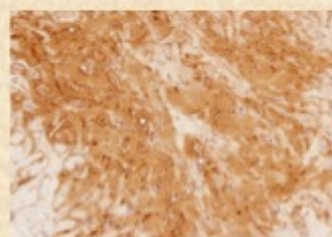
心電図における低電位や左室肥大、手根管症候群の既往等があり心アミロイドーシスが疑われる患者さんがいらっしゃいましたら、当科までお気軽にご紹介ください。



HE染色



DFS染色



トランスサイレチン免疫染色

後記

平素より、ホットラインを含め皆様から多数のご紹介をいただき、誠にありがとうございます。今年4月～9月までにホットラインにて113例の患者さんをご紹介いただきました。これから寒くなり入院が必要となる症例の増加が予想されます。引き続き地域の皆様のお役にたてるよう、当科スタッフ一同尽力して患者さんの受け入れ体制の維持に努めて参りますので、ご意見・ご要望がございましたら、お気軽にご連絡ください。

the editor's notes

**冠動脈CT専門外来
FAX予約受付中**

お問い合わせ先
医療連携室: TEL 072-684-6338